



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 ダイヤモンド電機株式会社

コード番号 6895 URL <http://www.diaelec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池永 重彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 榎本 公一

TEL 06-6302-8141

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	18,053	39.5	493	—	376	—	289	—
22年3月期第2四半期	12,945	△26.2	△74	—	△156	—	△283	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	32.04	—
22年3月期第2四半期	△31.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	23,127	6,184	26.6	682.16
22年3月期	22,727	6,375	27.9	703.32

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 6,155百万円 22年3月期 6,347百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年3月期	—	3.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 有

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,657	15.3	860	98.5	750	112.5	533	—	59.10

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	9,149,400株	22年3月期	9,149,400株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	125,621株	22年3月期	124,441株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	9,024,305株	22年3月期2Q	9,026,647株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、中国・インドを中心としたアジア経済が引き続き高い成長を維持する一方で、先進国は景気対策効果により底堅く推移したものの厳しい経済情勢等を反映して、本格的回復には至りませんでした。

このような環境のもと、当社グループはコスト競争力強化のため、設備投資の抑制・調達及び生産の合理化・部品の内製化・在庫削減・業務の効率化等経営全般にわたる合理化を進めるとともに、新興国市場の成長を睨んだ海外展開、環境対策を念頭に置いた新製品開発に努めてまいりました。

自動車機器事業及び電子機器事業ともに順調に推移したことから売上高は180億53百万円（前年同期比39.5%増）となりました。利益面では、売上高増加が貢献し営業利益は4億93百万円（前年同期は74百万円の営業損失）、経常利益は3億76百万円（前年同期は1億56百万円の経常損失）、四半期純利益2億89百万円（前年同期は2億83百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### ①自動車機器事業

当社グループの主力製品である自動車用点火コイルは、海外市場においては新興国が順調に推移したこと、昨年の北米クライスラー社の生産ストップの影響がなくなったことに加えて、エコカー補助金制度終了前の駆け込み需要が追い風となって、売上高は120億45百万円（前年同期比49.8%増）と大きく伸ばいたしました。

利益面では、円高による利益の減少、高水準の研究開発費負担等のマイナス要因を、国内外の好調な生産により吸収し、セグメント利益は7億45百万円（前年同期は1億6百万円の営業損失）となりました。

#### ②電子機器事業

電子機器事業の主力製品である冷暖房給湯用制御基板は、国内住宅着工件数が低水準で推移したものの、世界的な猛暑を背景に主力のエアコン基板が好調に推移したため、売上高は60億7百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

利益面では、売上高は増加したものの、研究開発費等の諸経費増、円高による利益の減少等により、セグメント利益は2億33百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、231億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億円増加しました。主な増加は、現金及び預金2億61百万円、受取手形及び売掛金3億76百万円、棚卸資産2億62百万円などであり、主な減少は、その他流動資産（未収入金など）1億28百万円、有形固定資産3億28百万円などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億91百万円増加し、169億42百万円となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金7億47百万円、短期借入金1億93百万円、未払金2億71百万円などであり、主な減少は、1年以内返済予定長期借入金1億15百万円、長期借入金5億37百万円などです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億90百万円減少し、61億84百万円となりました。主な増加は、当第2四半期純利益2億89百万円などであり、主な減少は、その他有価証券評価差額金58百万円、為替換算調整勘定4億5百万円などによるものです。

以上の結果、自己資本比率は26.6%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、当初の予想よりも業績が好調に推移したことから、本日公表の「平成23年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」のとおり、当初の予想より業績は上回っております。

今後の見通しにつきましては、海外においては一部地域を除いた世界的な景気の減速傾向に加え、国内ではエコカー補助金制度終了に伴う販売減少、急激な円高進行に伴う輸出採算の悪化等、景気の足踏みが懸念される状況となっております。平成23年3月期通期連結業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、当下期の想定為替レートは、次のとおりです。

1 米国ドル=80円      1 ユーロ=110円

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

また、税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

### (4) 追加情報

当第2四半期連結会計期間より、ヘッジ会計の要件を充たすこととなったため、外貨建債権債務及び外貨建予定取引に関する為替予約について、ヘッジ会計を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,408,107	1,146,374
受取手形及び売掛金	6,655,287	6,278,926
商品及び製品	1,122,410	1,080,429
仕掛品	313,452	198,256
原材料及び貯蔵品	1,915,782	1,810,541
未収還付法人税等	1,538	—
その他	1,162,556	1,290,643
貸倒引当金	△10,595	△19,310
流動資産合計	12,568,539	11,785,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,724,984	2,804,392
機械装置及び運搬具（純額）	3,008,646	3,255,077
土地	2,100,485	2,117,247
建設仮勘定	651,853	651,757
その他（純額）	425,000	410,607
有形固定資産合計	8,910,971	9,239,081
無形固定資産	99,377	74,479
投資その他の資産		
投資有価証券	672,059	760,801
その他	878,799	869,359
貸倒引当金	△2,250	△2,250
投資その他の資産合計	1,548,608	1,627,910
固定資産合計	10,558,957	10,941,471
資産合計	23,127,496	22,727,334

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,118,141	6,370,743
短期借入金	1,975,962	1,782,845
1年内返済予定の長期借入金	1,230,181	1,346,004
未払金	2,256,388	1,985,080
未払法人税等	64,743	124,641
賞与引当金	478,929	368,489
リース資産減損勘定	29,036	30,695
その他	338,341	312,880
流動負債合計	13,491,723	12,321,381
固定負債		
長期借入金	2,145,827	2,683,143
退職給付引当金	817,581	823,897
役員退職慰労引当金	187,720	183,370
長期リース資産減損勘定	21,192	35,093
その他	278,720	304,740
固定負債合計	3,451,041	4,030,245
負債合計	16,942,765	16,351,626
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,190,000	2,190,000
資本剰余金	3,882,941	3,882,941
利益剰余金	1,121,049	849,956
自己株式	△59,120	△58,695
株主資本合計	7,134,870	6,864,202
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	74,590	132,653
繰延ヘッジ損益	1,405	—
為替換算調整勘定	△1,055,170	△649,406
評価・換算差額等合計	△979,175	△516,753
少数株主持分	29,036	28,258
純資産合計	6,184,731	6,375,707
負債純資産合計	23,127,496	22,727,334

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	12,945,652	18,053,226
売上原価	10,878,311	14,954,874
売上総利益	2,067,341	3,098,352
販売費及び一般管理費	2,141,615	2,604,821
営業利益又は営業損失(△)	△74,274	493,531
営業外収益		
受取利息	2,607	5,129
受取配当金	7,157	5,509
補助金収入	28,509	6,545
その他	15,929	34,705
営業外収益合計	54,204	51,890
営業外費用		
支払利息	56,982	53,565
手形売却損	1,401	1,938
為替差損	37,949	108,157
休止固定資産減価償却費	28,488	—
その他	11,403	5,699
営業外費用合計	136,225	169,360
経常利益又は経常損失(△)	△156,295	376,060
特別利益		
固定資産売却益	909	1,027
特別利益合計	909	1,027
特別損失		
固定資産売却損	2,260	258
固定資産除却損	3,821	8,270
減損損失	—	15,290
子会社工場閉鎖費用	597	—
特別損失合計	6,678	23,818
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△162,064	353,269
法人税、住民税及び事業税	112,160	75,735
法人税等調整額	125	△13,512
法人税等合計	112,285	62,223
少数株主損益調整前四半期純利益	—	291,045
少数株主利益	9,099	1,902
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△283,449	289,143



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△162,064	353,269
減価償却費	620,305	687,692
減損損失	—	15,290
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,360	△7,853
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,729	△6,315
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,690	4,350
受取利息及び受取配当金	△9,765	△10,639
支払利息	56,982	53,565
為替差損益(△は益)	10,828	32,075
有形固定資産除却損	3,821	8,270
有形固定資産売却損益(△は益)	1,350	△768
売上債権の増減額(△は増加)	△20,326	△525,007
たな卸資産の増減額(△は増加)	△665,297	△384,916
仕入債務の増減額(△は減少)	698,901	1,214,399
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,177	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	130,185	112,315
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	100	—
その他	△16,079	148,125
小計	677,899	1,693,852
利息及び配当金の受取額	9,947	10,639
利息の支払額	△53,132	△55,570
法人税等の還付額	47,905	—
法人税等の支払額	△3,554	△110,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	679,065	1,538,151
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600	—
有形固定資産の取得による支出	△308,904	△717,268
有形固定資産の売却による収入	25,233	6,815
無形固定資産の取得による支出	△14,176	△28,082
投資有価証券の取得による支出	△8,806	△8,680
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	5,578	—
その他	△92	4,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△302,767	△743,025

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,047	195,787
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△509,300	△608,837
自己株式の取得による支出	△379	—
配当金の支払額	—	△18,049
少数株主への配当金の支払額	—	△1,100
その他	△15,260	△18,366
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,893	△450,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,537	△83,407
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	355,866	261,152
現金及び現金同等物の期首残高	1,456,247	1,119,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,812,113	1,380,520

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	自動車機器事業 (千円)	電子機器事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	8,040,742	4,904,909	12,945,652	—	12,945,652
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,040,742	4,904,909	12,945,652	—	12,945,652
営業費用	8,147,613	4,612,023	12,759,636	260,289	13,019,926
営業利益又は営業損失(△)	△106,870	292,886	186,015	(260,289)	△74,274

(注) 1. 製品の種類別及び売上集計区分を基準として、事業区分を行っております。

2. 各事業の主要な製品

事業区分	主要製品
自動車機器事業	ガソリンエンジン用点火コイル、ミッションスイッチ、センサー、車載用制御基板
電子機器事業	ファンヒーター用・エアコン用・給湯器用等の電子制御機器、及び電子着火装置

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた金額及び主な内容は以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (千円)	主な内容
消去又は全社の項目に含めた配賦不能費用の金額	260,289	当社管理部門に係る費用であります。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,804,382	1,977,686	905,882	257,701	12,945,652	—	12,945,652
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,009,272	17,853	84,507	157,995	2,269,629	(2,269,629)	—
計	11,813,654	1,995,539	990,390	415,696	15,215,281	(2,269,629)	12,945,652
営業費用	11,211,225	2,195,904	984,550	601,086	14,992,766	(1,972,839)	13,019,926
営業利益又は営業損失(△)	602,429	△200,364	5,839	△185,389	222,514	(296,789)	△74,274

(注) 1. 地域は地理的接近度により区分しております。

2. 区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

北米 …… 米国、 欧州 …… ハンガリー、 アジア …… 中国・インド

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた金額及び内容は以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (千円)	主な内容
消去又は全社の項目に含めた配賦不能費用の金額	260,289	当社管理部門に係る費用であります。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,978,961	1,185,879	3,164,840
II 連結売上高（千円）	—	—	12,945,652
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	15.3	9.2	24.4

（注）1. 地域は、地理的接近度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

北米 …………… 米国

その他 …………… ハンガリー、中国、インド、オーストラリア、台湾他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象になっているものであります。

当社は、「自動車機器事業」、「電子機器事業」の2つの事業を基本に組織が構成されており、各事業本部は、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、「自動車機器事業」、「電子機器事業」の2つを報告セグメントとしております。

「自動車機器事業」は、ガソリンエンジン用点火コイル、ミッションスイッチ、回転センサー、車載用電子制御基板等を製造・販売しております。

「電子機器事業」は、ファンヒーター用・エアコン用・給湯器用等の電子制御基板及び電子着火装置等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車機器事業	電子機器事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	12,045,454	6,007,772	18,053,226	18,053,226	—	18,053,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,045,454	6,007,772	18,053,226	18,053,226	—	18,053,226
セグメント利益	745,167	233,256	978,424	978,424	(484,893)	493,531

（注）1. セグメント利益の調整額484,893千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用484,893千円であります。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。